

企画・編集  
まつどやさしい暮らしラボ

●市民プロジェクトメンバー  
秋山尚文(農家)、阿部剛(まつどNPO協議会、まつど市民活動サポートセンター)、石井寛茂(石井農園)、石川静枝(野菊野こども館、NPO法人松戸子育てさぼーとハーモニー)、石川正博(株式会社大功)、篠澤史子(保育士、まつどい運営、ラボ市民記者兼務)、鈴木麻里子・寺田一彦・上條榮子(株式会社エフエム松戸 ラジオボワロ、まつど観光大使)、染谷宗成(松戸まちづくり会議)、奈賀綾子(松戸市PTA連絡協議会)、萩野正和(一般社団法人STUDIO MOC、まつど観光大使)、馬場浩士(まつど観光大使、松戸市緑推進委員、ラボ市民記者兼務)、八嶋正典(八嶋商店)、山口恵理子(公益社団法人松戸青年会議所)

(50音順、敬称略)

発行  
松戸市役所 広報広聴課  
シティプロモーション担当室  
〒271-8588  
千葉県松戸市根本 387 番地の 5  
電話 / 047-366-7320(直通)

2016年発行  
※本誌に掲載している写真・記事等の無断転載および複写を禁じます。  
※記載内容が変更する場合がありますので、お出かけやご利用の際には、再度ご確認くださいことをおすすめします。

# やさシティ、まつど。

市の木 さくらの花  
桜並木が いっぱいあります  
市の鳥 しらさぎ  
楽しく、おしゃれで元気な街。  
全ての人を柔らかく包み込む  
優しい都市、優しい人々。  
ここで始まる新しい暮らし  
やさシティ、まつど。  
m a t s u d o  
二十世紀梨の発祥地  
梨狩りもできる!  
松戸市の市制施行70周年を記念して、  
ロゴマークとスローガン・ステートメントができました  
市の木 梨  
親子  
子ども  
矢切ねぎ  
市を代表する農産物ねぎ  
あじさいねぎ

## 松戸市って子育てファミリーにやさしいってホント!?

共働き  
子育てしやすい街  
ランキング  
地方編  
(総合から東京を除いた市区)  
全国9位  
県内1位  
※出典 / 日経デュアル調査「共働き子育てしやすい街」2015

共働きファミリーにとって重要な、  
保育園への入園のしやすさや保育料の助成、育児のサポート、  
病気の時でも子どもを預けられる病児保育などが評価されました!  
ママ & パパが共に働き、一緒に子どもを育てていくための支援が  
松戸市には揃っています。

いま、みんなにとって“やさしい暮らし”って、なんなんだろう。

## まつどやさしい暮らしラボからのメッセージ



2014年2月19日、

松戸市内に住む市民のみなさんや松戸市に愛着のある人たちと松戸市役所が一緒になって、  
松戸市の魅力を見つけて発信していこうと、  
「情報共創型」のシティプロモーション活動を進めるプロジェクトチーム  
「まつどやさしい暮らしラボ」を発足しました。

松戸市には、“やさシティ、まつど。”というスローガンがあります。

“やさしい街・松戸市”を見つけて、創って、伝えていく。

そんな活動を続けていたら、松戸市の暮らしの中に、たくさんの“やさしさ”を見つけました。

やさしいということはきっと、暮らしやすいということ。

子どもたちが元気に育ち、ママもパパも子育てしやすくて、みんなが住みやすい

“やさしい暮らし”がいっぱいつまった「松戸市」のことを、

もっとたくさんの人に知ってほしくて、この冊子をつくりました。

